町民投稿

マフラーや 友の温みも 織り込まれ（み江）

2021.1
No.150

松川町議会です

シリーズ　『えがお』

もっと身近に!より良き未来へ!
新構成で議会スタート

2〜5ページ

旧青年の家の活用　町案の変遷

12〜13ページ

町政を質す　一般質問

16〜23ページ

表紙　　みんなでぬくぬく上片桐保育園

もっと身近に！より良き未来へ！

新構成で議会スタート

議長に黒澤哲郎議員　　副議長に松井悦子議員

第17期議会、新構成のもと11月30日に定例会が開会。正副議長・各常任委員会・議会運営委員会など今後の運営上に必要な議会構成を決定しました。

責務を果たし負託に応える議会に

議長　黒澤哲郎

南信州広域連合議会議員
下伊那北部総合事務組合議会議員

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。このコロナ禍において、皆様方にとって明るい希望の見える年となりますようお祈り申し上げるところでございます。この度、議会改選において議長に就任する運びとなりました。若輩ではありますが全力で職責を果たす所存であります。皆様方のご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

今、当町が抱える課題に、議会としてどう対処していくか問われています。議会の議決は最終決定で大きな重みを持っていることを自覚し、より良き未来へ繋ぐ決定のため、皆さんの声に耳を傾け、議員一人一人が真剣に課題に向き合って議論し行政を動かして参ります。議会へのご理解とご協力をお願い申し上げます。結びに皆様方のご多幸とご健勝をお祈り申し上げ就任のご挨拶とさせていただきます。

町民から信頼される議会に

副議長　松井悦子

下伊那北部総合事務組合議会議員

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。この度の町議選において、5期目の当選をさせていただき、さらには副議長として務めさせていただくことになりました。宜しくお願い致します。

議会は団体の意思決定機関であり、町長から提案された案件の可否を判断します。貴い税金を間違いのない使い方をして町政がより良い方向に進むよう、議員それぞれが豊富な情報を得て的確な判断をする必要があります。その為には、各議員が常に学習や研修をして見識を高め、感性を研ぎ澄ます必要があると思っております。20名以上の議員数であった昔に比べて、現在は14名と少なく、議員一人ひとりの判断の良し悪しが、町政に大きく影響するからです。町民の皆様の声に常に耳を傾け、公平公正な判断ができる松川町議会となるよう、職務に邁進する所存です。

皆様のいっそうのご指導、ご鞭撻をお願い致します。

開かれた議会をめざして
各委員長よりひとこと

住民目線で課題解決を目指す

総務産業建設常任委員長
議会運営委員
南信州広域連合議会議員
中平文夫

総務・産業・観光・建設・リニア関連・水道などを担当する委員会です。
委員会としての提言やチェックは住民目線で考え、みんなに公平か、みんなの為になるかを常に念頭に置きながら、中立的立場で課題解決させるため前に進む委員会運営を心掛けます。

安心して暮らせる町を目指して

社会文教常任委員長
議会運営委員
川瀬八十治

福祉施設や教育施設等、箱物の老朽化が進み、撤去、統合、複合化が不可避である。
元気センター（仮称）の早期建設や、教育施設の検討が必須となっている。町のインフラ整備に向けて、町政と共に取り組んでまいります。

情報発信と住民の声を聴く耳を

広報広聴常任委員長
社会文教常任委員
坂本勇治

広報広聴常任委員会は広報部と広聴部の2つの部会に分かれています。広報部は議会だよりで議会活動の情報を発信し、広聴部は区や自治会、各種団体等との懇談会を開催して、住民の皆様からの声を聴き、より良い町政を目指し行政に提言していきます。

議論をつくして結論を得る

議会運営委員長
総務産業建設常任委員
森谷岩夫

人口が1万3千人を切ると松川町はダメなのか。そんなことはない。いつも活力のある町だと思えるような町民が沢山いれば、1万人でも8千人でもよい。自分たちの考えが、少しでも町政に反映されるような町なら人数は関係ない。そんな思いで議員を務めたい。

本会議でのより詳しい議論は公式HPの会議録にてご覧になれます。 松川町 本会議 会議録 検索

総務産業建設常任委員会

開かれた議会を目指して

総務産業建設常任副委員長
議会運営委員
大蔵　洋

リニア時代を見据えた街づくりを念頭に、〝**住んでみたい、住んでよかった街を!!**〟
町民の皆様と議会が課題を共有して、政策討論し、政策提言を発信する議会に変革し、町民に寄り添った開かれた議会となる様に取り組んでまいります。

常に公正な立場で

監査委員
米山俊孝

町監査委員として務めさせていただきますが、その責務は重大と感じており、常に公正な立場で職務を遂行してまいります。また、議会リニア対策特別委員会委員長も務めてまいりますが、住民目線を忘れることなく取り組んでまいります。

明るく希望を持って安心できる町を

下伊那北部総合事務組合議会議員
菅沼一弘

産業観光課では農商工から清流苑まで、環境水道課では自然エネルギーから上下水道と多岐にわたり、委員会としてのチェックと提言が問われます。広い視点で町の将来を見つめ取り組んでいきます。

コロナ禍の下、住民生活の充実を

米山義盛

町民の皆様の日々の仕事と生活がより充実したものとなることを願って、誠心誠意頑張ります。コロナ禍の不安の中で、地域で支えあうことがますます大切になってきていると思います。効率優先でなく、一人ひとりの思いが大切にされる新しい社会へ向けて歩みたいです。

社会文教常任委員会

みんな一緒に笑顔でつくる町づくり

社会文教常任副委員長
広報広聴常任委員会副委員長
米山郁子

地域共生社会の実現に向け、福祉や教育においてさまざまな環境変化に対応し、取り組むことが急がれる時代となりました。議員として決断・実行に向け、更に学びを深めて行動してまいります。議会だより編集委員長として、伝えるから伝わる編集に努めてまいります。

行政、議会一丸となり停滞を打破

南信州広域連合議会議員
間瀬重男

今、世界は新型コロナの恐怖に怯えています。早期の終息を第一に、子育て、教育、医療、高齢者、社会弱者への福祉の充実を図り、今停滞している担当課題の元気センター（仮称）早期建設に向け、行政、議会一丸となり知恵を絞り、努力してまいります。

健全で強い議会が行政を引き締める

加賀田亮

議会に課せられた原理原則を、愚直・忠実・生真面目に実行する。細かい・しつこい・小うるさいと煙たがられても原則に徹して行政の迷走抑止・正常化に尽力する所存です。

「小さな声を聞くちから」の体現を

塩沢貴浩

ＳＤＧ，ｓの提唱する「誰も置き去りにしない社会」の構築のために「ひとり」の「小さな声」が大事だと思います。

まだまだ経験も実力も不足ですが、どこまでも一人を大事にする議員でありたいと思います。身近に、議員の存在を感じて貰えるように精進してまいります。

本会議でのより詳しい議論は公式HPの会議録にてご覧になれます。 松川町 本会議 会議録 検索

12月定例議会総括質疑 ここが聞きたい!

12月定例議会では、11月の議会選挙後の初議会であり、正副議長の選挙と各常任委員会などの選任を行った。条例では松川町議会議員及び松川町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例、他4つの一部を改正する条例の制定について、補正予算は、一般会計（第8回）・国民健康保険（第3回）・後期高齢者医療（第2回）・介護保険（第2回）・保養宿泊施設（第3回）・水道事業（第2回）などについて審議した。

観光地域づくり推進は

質問 **観光まちづくりセンターに設置する※Eバイク整備補助300万円でバイクを8台購入されるが運用面はどうされるのか。**

答弁 観光まちづくりセンターが主体となりサイクルツーリズムとしてEバイクのレンタルサイクルを行う。GPSナビ付きで自身でのコース設定もできる。最初は清流苑やツリードーム周辺のコースを想定。交通安全が確保できるコースから運用していく。

※Eバイクとは
電動アシストスポーツ自転車で電動機で坂道もラクラク走行可能な二輪車

段丘を駆け上がる

新しい風は協力隊から

質問 **地域おこし協力隊活動費の、果樹研修生120万円の減となっている。どのような事情があったのか詳細を。**

答弁 募集人員は2名で1名は在学中の学生で4月採用、1名はコロナの影響で、面接ができていない。

ふるさとを思う

質問 **ふるさと帰省支援助成金270万円の対象に、小中学生は含まれていないのか。**

答弁 町を離れている小・中学生も対象に考えている。

質問 **歳入で、ふるさと納税5,000万円増となっている。歳出では3,400万円とある。町に残るお金は。**

答弁 基金積立として1,590万円で概ね30％が町に入る。

造成も含め高額？

質問 **防災倉庫事業として、今回1,150万円が増額され、総額で4,150万円となる。造成も含め高額であると思うが。**

答弁 防災倉庫ということで耐震性を標準の物より1ランク高くして、倉庫にトイレを増設した。

普及率はどのくらい？

質問 **マイナンバーカードを町として推奨している。国民健康保険にも繋がる。現状の発行率と広報対策は。**

答弁 発行率は13.5％である。土曜日窓口を設けて推奨している。広報としてはチャンネル・ユーで申請を呼び掛けている。

心配される特養の今後

質問 **松川荘は修繕が多くなってきている。今後の方向性と見解は。**

答弁 医療介護の検討会ということで、町と社会福祉協議会、下伊那赤十字病院の三者で検討会を立ち上げた。

質問 **介護度が高い方の重要な施設である。ある程度の目標をもって取り組むべきではないか。**

答弁 日赤との話合いを進めていたが、コロナ禍での経営が影響し話が進まない残念な状況である。

自然エネルギー普及は

質問 **自然エネルギーの太陽光発電と蓄電設備設置補助が増となっている。これからは蓄電に需要があるが進み具合は。**

答弁 当初予定よりは問い合わせがある。蓄電器は15件で150万円を見越している。

一般会計補正予算　（第８回）の概要

補正予算総括　（単位：千円）

補正予算額	補正前の額	計（補正後）
12,378	8,402,526	8,414,904

主な歳入　（単位：千円）

科　目	補正額
町税	△ 16,000
使用料	△ 12,500
災害復旧費国庫負担金	△ 65,501
ふるさと応援寄付金	50,000
基金繰入金	38,619

※補正された主な金額と内容を掲載しております

当初予算からの経過　（単位：千円）

回＼項目		補正予算額	計（補正後）
当初予算			6,041,250
第１回	専決	30,000	6,071,250
第２回	専決	1,316,200	7,387,450
第３回		129,591	7,517,041
第４回		96,777	7,613,818
第５回		183,809	7,797,627
第６回	専決	77,630	7,875,257
第７回		527,269	8,402,526

主な歳出　（単位：千円）

事業名	ふるさと応援基金	防災用備蓄倉庫等整備	ふるさと帰省支援事業（学生）新型コロナウイルス感染症に係わる抗原検査事業（町民対象）	飲食・販売・サービス業等新型コロナ危機突破推進支援金
補正額	50,000	11,534	5,400	7,000
事業名	観光地域づくり推進事業	学校情報通信ネットワーク環境整備	文化財保護（遺跡発掘）調査	林業施設災害復旧関連工事
補正額	17,500	12,100	26,284	24,000

修正案を提出！

付託を受けた総務産業建設常任委員会よりアスベスト含有事前調査業務に係わる費用として１８０万円を削除する意見があり、賛成多数で議案第８号令和２年度松川町一般会計補正予算（第８回）の一部を修正する案が提出された。

修正案は否決 原案を可決！

本会議で質疑、討論の結果、修正案は否決され、原案通り可決された。

修正案に対する……討論！

賛成

今回する必要はない。悪しき前例になる。アスベスト調査は県の補助金１億４，７００万円の条件ではないはず。

この事業は急いで予算化して県へ申請しても、事業費自体が県から増額補填されるものでないから今急ぐ必要はない。

米山俊孝議員

アスベストの事前調査50万円かけた調査結果がすでに示されている。撤去しなければ不要な調査となる。

坂本勇治議員

調査により無数の穴が開いている状態である。今回の予備調査で十分な資料は提示されたと判断している。

川瀬八十治議員

反対

いつかはアスベストの調査をしなければならない。３月までにきちんと計画し、10月までに県へ提出する必要がある。業者に金額の上乗せをされなくなる。町として透明性が保たれる。

森谷岩夫議員

町民の皆さんにアスベスト調査状況を示し、それから判断していくのが筋である。

中平文夫議員

公共施設の改修・解体については、全て事前調査を実施していく方向である。青年の家に対しても、いずれは町か施工業者が調査を実施し費用が発生する。工事費の透明化になる。

大蔵洋議員

本会議でのより詳しい議論は公式HPの会議録にてご覧になれます。松川町　本会議　会議録　検索

請願3 審査

「旧青年の家の建物診断業務委託（委託料180万円）および、アスベスト事前調査業務委託（委託料500万円）の停止」を求める請願

一般会計補正予算に係わる事案であり予算審議前に、総務産業建設常任委員会でこの件について、予め協議を行った。

協議した内容は以下の通りです。

建物診断業務委託（委託料180万円）については9月議会で議決し、すでに執行されている事案であり、対象外とします。

アスベスト事前調査業務委託（委託料500万円）については、今議会にて「アスベスト含有事前調査業務180万円」として計上され審議中の事案であり、慎重に審議する旨の委員からの意見があり、内容を確認後予算審議に入りました。

今補正予算で計上する理由、アスベスト含有事前調査業務費の必要性などを慎重に審議し、各委員よりそれぞれ意見の中で、削除、削除せずの意見があったため採決の結果、総務産業建設常任委員会としてはアスベスト事前調査業務費については、削除するのが妥当という案に賛成4反対2となり、一部修正を提出することとなりました。

その後、請願審査を再開し2項目のうち、建物診断業務委託以外のアスベスト事前調査業務に関してのみを審査し、その結果当委員会としては、賛成4、反対2で賛成多数で採択と決し、全体として一部採択と決しました。

審査の結果

本会議において審査の結果は次の通りです。

常任委員会では一部採択であったが、本会議の採決においては、賛成少数にて不採択となりました。

請願4 審査

「令和2年10月22日、議会全員協議会に報告された『旧青年の家エリア整備計画検討委員会設置要綱』の見直し」を求める請願

要綱設置については、議会の議決が必要のない事項であります。

議会では10月22日の全員協議会で、旧青年の家エリアの整備については単に西山地区だけの問題ではなく、町全体的に考える必要がある事をすでに指摘しています。

検討委員会の人選に対しても全町的に選出すべき意見や、地区により旧青年の家に対する考え方の温度差がある旨の指摘をし、各地区から人選する提案も出されています。

審査の結果

請願趣旨に沿った提案も議会としてすでに行っていることから、全員賛成であり常任委員会としては採択と決し、本会議においても全員賛成で採択されました。

賛成討論

人選については問題を矮小化する人選と思っている、慎重に考えるべきである。　**森谷岩夫議員**

検討委員会そのものが、正当性がないものと思っている。　**加賀田亮議員**

陳情

陳情7・8は審査の結果、採択され地方自治法第99条の規定により、意見書を提出した。

陳情7「安心・安全の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための陳情」

要請項目

①今後も発生が予想される新たな感染症拡大などの事態にも対応できるよう、医療、介護、福祉に十分な財源確保を行うこと。

②公立公的病院の統合再編や地域医療構想を見直し、地域の声を踏まえた医療体制の充実を図ること。

③安全・安心の医療・介護提供体制を確保するため、医師・看護師・医療技術職などを増員すること。

④保健所の増設・保健師等の増員など公衆衛生行政の拡充を図ること。ウイルス研究、検査・検疫体制などの強化・拡充すること。

陳情8「選択的夫婦別姓制度の導入を求める陳情」

要請項目

夫婦別姓を選択できる国が大多数であり、夫婦同姓を強要している国は極めて少ない。我が国も批准している女子差別撤廃条約は、姓及び職業選択を含めて、夫及び妻に同一の個人的権利を保障することを締約国に求めており、選択的夫婦別姓制度の早期導入を求める。

討論

賛成

多くの女性がそれを望んでおり、悲願である。選択制であり、強制ではない。国の制度が変わっていないので変えたいという陳情である。 **松井悦子議員**

反対

ひとつの姓の下にあって家族の絆が築かれている。子供たちの成長、自分の選ぶ道についても姓の問題はかかわってくる。国も導入には慎重である。 **間瀬重男議員**

条例

公職選挙法の一部改正に伴い町条例を可決

松川町議会議員及び松川町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の制定について

第一　町村議会議員選挙及び町村長選挙における選挙公営の拡大

町村議会議員選挙及び町村長選挙に係る次の事項につき、条例による選挙公営の対象とすること。

① 選挙運動用自動車の使用

② 選挙運動用ビラの作成

＊ 公営の前提としてのビラ頒布解禁については、「第二」参照

③ 選挙運動用ポスターの作成

第二　町村議会議員選挙におけるビラ頒布を解禁すること。

ビラの頒布の上限枚数は1,600枚（通常葉書の2倍）とし、ビラの種類、頒布方法、規格等は現行法の市議会議員選挙と同様とすること。

第三　町村議会議員選挙における供託金制度の導入

町村議会選挙について、供託金制度を導入することとし、その額は15万円とすること。

供託物没収点は、現行法の市議会議員選挙と同様とすること。

討論

賛成

・複数の選挙活動案件に公費が認められる。活用について不適切な事案が起きないよう注意が必要。

（加賀田亮議員）

反対

・選挙公営になり、町としても新たな予算措置が発生し住民負担が増えるから選挙公営には反対。

（坂本勇治議員）

本会議でのより詳しい議論は公式HPの会議録にてご覧になれます。 松川町 本会議 会議録 検索

だより

社会文教常任委員会

（水）に総務産業建設常任委員会を行い、委員

を分担し、能率的に処理するために設置された機関です。

社会文教常任委員会とは、住民税務課・保健福祉課・こども課・教育委員会の分野を担当しています。

質問・意見	答　弁
①小学校ネットワーク整備費1,210万円の予算で環境は整うがタブレットを使ったリモートの考え方は。	① 2 月中に納品し、 3 月から使えるように運用面などに取組み、来年の夏休み頃までには家庭で、リモート学習ができるように考えている。
②タブレット学習は学習障害のお子様にとって強力な支援ツールとなる。普通の授業でも使用できないか。	②ＩＣＴを活用することで、多様な子どもたち一人ひとりに合わせた学習ができるよう、しっかりと力を注いでいく。
③前河原道路工事関連遺跡発掘で2,400万円は、どのような内容のものなのか。	③前河原地籍の調査は北の城のあった場所と推定され、1,800人工を見込んでおり、大掛かりとなる。
④　特養松川荘雨漏り修繕費190万円､修理の工法はどのようにするのか。	④ペーパー掛けと高圧水洗をし、目地などの補修、防水シートと塗装により漏れないようにする。
⑤新型コロナウイルス感染対策で、町民向けの抗原検査費270万円について、ＰＣＲ検査と、抗原定量検査の違いは何なのか。また、期限の理由は。	⑤ＰＣＲ検査は抗原検査よりウイルスの量が少なくても確認できる。町は、国で示す抗原検査の基準単価7,500円を補助していく。運用期限も国の事業に合わせ、来年の 3 月31日までとしている。
⑥国保会計歳入で保険給付費等交付金の減4,822万円について、詳細な診療分析はできているのか。	⑥ＫＤＢシステム（国保データベースシステム）で、詳細分析はできるが今回はまだできていない。国保の安定化という点で詳しく分析をし、資料を提出したい。

工具や耕起具が出土

議会担当委員として自己紹介

調査・研究

午後、弥生時代の弥久司地域住居の遺跡（1800年～1700年前）を見学、松川町資料館元館長の酒井氏より説明を受けました。次に上片桐公民館の「コミュニティ・カフェ」の現地調査を行い、参加されている皆様とミニ懇談を実施しました。

総務産業建設常任委員会

委員会

総務産業建設常任委員会とは、総務課・まちづくり政策課・産業観光課・環境水道課・建設課・会計室・議会事務局の分野を担当しています。

12月７日（月）社会文教常任委員会、12月９日会ごとに現地調査を実施しました。

※常任委員会制度とは、多数の議案をそれぞれ担当部門別に調査

質問・意見	答　弁
①現年公共土木施設災害復旧国庫負担金減8,000万円されているが、なぜ減額が大きいのか。	①7月の豪雨災害で柄山隧道上部が崩れた。1週間以内に事業費を国へ報告する関係上、大まかな面積、工法で報告しその後、土質の調査の結果、工法変更で減額となった。
②自然エネルギー費蓄電設備設置補助金の規定が現実とかけ離れた補助体系となっている、次年度に向けて見直すべきではないか。	②設備の価格帯は平均すると150万円前後であり、現状の事例収集し来年度予算編成に向けて検討していく。
③地方創生推進交付金を使う前提としてツリードーム事業を展開しているが、一カ所ばかりに投資するのでなく梅松苑や他の地域のことも考えて投資すべきではないか。	③地方創生推進交付金の1事業は3年のスパンで計画してあり、集中して行うためにそう見えてしまう面もある。限られた期間で、ＤＭＯを含めた観光まちづくりの体制を作るため、集中的に事業を行うので理解頂きたい。
④アスベスト含有調査での定性分析まで行う必要性があるのか。	④含有の有無についてグレー部分の白か黒かはっきりさせることが、改修、解体撤去するにも必要である。
⑤旧青年の家に関する県からの補助金の1億4,700万円は絶対的か、アスベスト調査費は別枠でもらえるのかどうか。	⑤平成29年に結んだ県との覚書では補助金上限1億4,700万円と決めており昨年の3月に3年の延長は認めて頂いたが調査費は含まれている。
⑥改修あるいは解体撤去するにしても、1億4,700万円以上経費が発生する場合は町として持ち出しとなるので、アスベストの調査は方針が決まってから行えばよいと思うが。	⑥県へは継続使用するか、あるいは解体撤去するかの整備計画書を提出しなければならない。改修するとしても最低限で約1億3,000万円は発生する。

前河原予定地の現地状況説明

防災倉庫の運用状況確認

調査・研究

審議入り前に予算に関係する防災倉庫、及び前河原道路予定地の視察を新体制で行いました。

本会議でのより詳しい議論は公式HPの会議録にてご覧になれます。松川町　本会議　会議録　検索

町案の変遷

【長野県との取り決め】（2017.4 ～ R4）

補助金の交付条件（約１億５千万円）
◆生涯学習の振興等に資する施設とするための改修工事費
◆生涯学習施策充実化の一環でやむを得ず施設を解体するための工事費

２０１７(Ｈ２９)１１月

町が策定した「松川青年の家」活用に関する方針（案）Ver2-2 において「松川町の地域資源（自然）を活用した体験と宿泊の拠点として活用を行う」として事業の検討を開始した

＊議会からは、県提示交付金額（約１億５千万円）の範囲内での改修を行い継続使用の選択を申入れた

２０１８(Ｈ３０) ６月

基本コンセプトを検討（町、観光まちづくりセンター）
➡滞在時間を延ばすための宿泊施設の提供
➡地域の宝を感じてもらえるための滞在空間とサービスの提供
➡自然・農・人を感じ、共感できる滞在交流プログラムの提供
➡宿泊施設を通じた地域経済への効果を創出
改修工事費…約３億８千万

議会全員協議会
- 費用が大きすぎるため、時間をかけて調査を行うべき

２０１９(Ｒ１)９月

基本コンセプト、あと利用計画の見直し（町）→議会の総産建委、社文委、全員協議会報告
施設全体の改修を断念し、廃止（宿泊棟解体・撤去、体育館は H29 耐震化済みのため活用）
➡一体をツリードームを中心に捉えた観光エリアとして最小限の投資で整備を行う
➡キャンプサイトは継続活用

２０１９(Ｒ１)１０月・１２月

既存施設活用について適否を検討（町）→議会全員協議会報告
➡既存施設の活用は適切でないと判断
- 一部改修して団体利用をメインとした場合、独立採算が見込めず町負担が増加の可能性
- 地域経済への波及効果が限定的
- 大幅なコンセプトの変更に既存施設が対応できない

◉小規模改修工事…約１億４千万円（浴室、食堂、厨房等は含まず）がさらに増える可能性
◉大規模リニューアル…約３億８千万円

旧青年の家の活用

２０２０（Ｒ２）４月

あと利用計画の見直し（町）→議会全員協議会報告
➡県補助金を財源とした第１期整備…約１億４千万円
・宿泊棟、外構撤去、体育館で入口改修、ツリードーム整備
➡エリア全体の整備構想策定後の第２期整備
・町民が参画する検討組織を設置し、旧青年の家エリアにおける、野外活動＆滞在機能の充実に関する構想及び施設等整備計画の検討

［パブリックコメント］
・防災拠点
・山岳観光拠点
・人・モノ・資金・情報の流入を先取りする戦略的拠点
・安価で利用できる施設

＊提出されたパブリックコメントに検討結果の報告なし

２０２０（Ｒ２）７月

あと利用計画の見直しの進め方変更（町）→議会総産建委、全員協議会報告
➡基本コンセプトを、施設の取り扱いに先行して検討
➡既存施設の撤去または改修に際してのコスト把握
➡計画スケジュールの見直し

２０２０（Ｒ２）８月

あと利用計画の検討について（町）→議会全員協議会報告・滞在型交流観光や野外活動振興のための基本コンセプト整備計画を考える
➡第１期整備計画の検討
・宿泊棟の改修または除去
・施設整備内容
➡第２期整備計画の検討
・施設整備内容
・全体投資額
・運営方法等

旧松川青年の家エリア整備計画検討委員会
①方針検討（基本コンセプト）
↓
②利用アイデアの創出（役割と機能）
↓
③利用アイデアの検討
・既存施設の要否
・整備内容の検討
↓
◇利用アイデアをまとめて町長に提案

本会議でのより詳しい議論は公式HPの会議録にてご覧になれます。松川町 本会議 会議録 検索

議　決　結　果

令和２年第４回定例会議決結果

賛成○　反対●

件名		塩沢貴浩	米山義盛	加賀田亮	米山郁子	川瀬八十治	大蔵洋	中平文夫	菅沼一弘	坂本勇治	森谷岩夫	米山俊孝	間瀬重男	松井悦子	結果	内容
条例	松川町税以外の諸収入金に対する手数料及び延滞金徴収条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	延滞金の割合等の特例について、地方税法の改正に伴い9月に改正された松川町税条例規定を準用することとする改正。
	松川町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	平成30年度に地方税法等の一部改正が行われたことに伴うもの。
	松川町後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	延滞金の割合等の特例について、地方税法の改正に伴い9月に改正された松川町税条例規定を準用することとする改正。
	松川町介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	延滞金の割合等の特例について、地方税法の改正に伴い9月に改正された松川町税条例規定を準用することとする改正。
	松川町一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	一般職、特別職、議会議員の期末手当の引き下げを行うもの。
	松川町議会議員及び松川町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の制定について	○	●	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	可決	公職選挙法の一部を改正する法律の施行に伴い制定するもの。
令和２年度補正予算	令和２年度松川町一般会計補正予算（第８回）の修正案について	●	●	○	●	○	●	●	○	○	●	○	○	●	否決	令和2年度松川町一般会計補正予算(第8回)について、アスベスト含有事前調査業務にかかる費用180万円を削除するものとし、商工費470万円増を290万円増に、予備費を1,947万円減から1,767万円減に修正するもの。
	令和２年度松川町一般会計補正予算（第８回）について	○	○	●	○	●	○	○	●	●	○	●	●	○	可決	1,238万円追加し、84億1,490万円とする。
	令和２年度松川町国民健康保険事業特別会計補正予算（第３回）について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	3,666万円減額し、11億2,684万円とする。
	令和２年度松川町後期高齢者医療特別会計補正予算（第２回）について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	144万円追加し、1億7,284万円とする。
	令和２年度松川町介護保険事業特別会計補正予算（第２回）について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	131万円追加し、13億611万円とする。
	令和２年度松川町保養宿泊施設事業特別会計補正予算（第３回）について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	4,670万円減額し、3億9,088万円とする。
	令和２年度松川町水道事業会計補正予算（第２回）について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	収益的収入　2億9,803万円
指定管理者の指定	松川町総合交流促進施設の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	株式会社ライフテックを指定。
議決	辺地に係る総合整備計画の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	西山辺地　町道 305 号線側溝整備工事に伴う計画の変更。
	辺地に係る総合整備計画の第二次変更について	○	●	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	可決	西山辺地　ツリードーム整備事業に伴う計画の変更。
	リニア対策特別委員会の設置について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	提出者：中平文夫　賛成者：大蔵洋、米山俊孝、森谷岩夫、菅沼一弘、米山義盛
請願・陳情	安全・安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための陳情	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択	提出者：米山　寿伸、地域医療と公立・公的病院を守る長野県連絡会（長野県保険医協会、長野県民主医療機関連合会、長野県難病患者連絡協議会、長野県社会保障推進協会議、長野県障害者運動連絡協議会、長野県労働組合連合会、長野県自治体労働組合連合、長野県医療労働組合連合会）
	「令和2年10月22日、議会全員協議会に報告された『旧青年の家エリア整備計画検討委員会設置要綱』の見直し」を求める請願	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択	提出者：竹村幸宏、西尾明廣、宮澤正典、矢澤勇、松本朗彦、宮沢朋文 紹介議員：川瀬　八十治
	「旧松川青年の家の建物診断業務委託（委託料180万円）および、アスベスト事前調査業務委託（委託料500万円）の停止」を求める請願	●	●	○	●	○	●	●	○	○	●	○	○	●	不採択	提出者：竹村幸宏、西尾明廣、宮澤正典、矢澤勇、松本朗彦、宮沢朋文 紹介議員：川瀬　八十治
	「夫婦別姓制度」の導入を求める陳情	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	採択	提出者：宮下　繁
意見書	安全・安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための意見書の提出について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	提出者：塩沢貴浩　賛成者：松井悦子、間瀬重男、坂本勇治、米山郁子、加賀田亮
	「夫婦別姓制度」の導入を求める意見書の提出について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	提出者：加賀田亮　賛成者：松井悦子、坂本勇治、米山郁子、塩沢貴浩
	国土強靭化対策の推進を求める意見書の提出について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	提出者：大蔵洋　賛成者：米山俊孝、森谷岩夫、菅沼一弘、米山義盛
選任	監査委員の選任について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意	議会選出委員　米山俊孝
	松川町固定資産評価審査委員会の委員の選任について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意	福島敏美氏（新任）
	人権擁護委員の候補者の推薦について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意	大澤徹氏（新任）

※黒澤哲郎議員は議長の為採決には加わっていません

10月～12月　主な議会日程

10月１日（木）　政策討論会
5日（月）　広報編集委員会
22日（木）　議会全員協議会
26日（月）　飯伊市町村議会議員研修会
11月４日（水）　議会運営委員会
26日（木）　議会全員協議会
議会運営委員会
30日（月）　第４回定例会　開会

12月２日（水）　議会全員協議会
3日（木）　第４回議会定例会　再開
7日（月）　社会文教常任委員会
9日（水）　総務産業建設常任委員会
11日（金）　議員協議会
16日（水）　第４回議会定例会　一般質問
18日（金）　議会全員協議会
第４回議会定例会　閉会
22日（火）　広報編集委員会
25日（金）　広報編集委員会

本会議でのより詳しい議論は公式HPの会議録にてご覧になれます。松川町　本会議　会議録　検索

所信を質す！ 一般質問

1　中平文夫議員（16ページ）
・青年の家調査業務はどの様な状態か

2　森谷岩夫議員（17ページ）
・リニア新幹線工事の発生土の利用と搬出計画について

3　松井悦子議員（18ページ）
・元気センターの早期開設を
・コミュニティーバスの低床化は進んでいるのか

4　塩沢貴浩議員（19ページ）
・リニア中央新幹線建設工事に伴う発生土運搬について
・県立こども病院へ入院されているお子さんを持つ保護者 を対象とした補助事業に関して

5　米山義盛議員（20ページ）
・松川町の子育て支援政策・活動の経過と今日的課題について問う
・介護・福祉施設のあり方について
・自治体職員の働きがいについて考える

6　加賀田 亮議員（21ページ）
・町長の政治倫理姿勢と具体的成果を問う

7　川瀬八十治議員（22ページ）
・進んでいない課題をどう考え解決をして行くのか

8　米山郁子議員（23ページ）
・リニア新幹線と松川町の将来的展望について
・中央公民館「えみりあ」の住民サービスについて

今議会は新型コロナウィルス感染拡大防止のためマスク着用で行いました。顔写真は広報掲載用に改めて撮影したものです。

一般質問は議員にとって、住民から重大な関心と期待を持たれる大事な議員活動です。町政全般にわたって執行機関に疑問点を質し、所信の表明を求め、議員自らの政策提言を行い、政治姿勢を明らかにするものです。

質問の持ち時間はひとり20分ですがスペースの都合上、質問者の責任において質問と答弁を要約して掲載しています。本会議での傍聴をお待ちしております。

お知らせ

チャンネル・ユー 議会番組のお知らせ

「議会の時間」は毎月の議会活動の内容を、概ね第3月曜日午後7時より放送を予定しています。再放送も併せて詳しくは番組表をご覧ください。

館報まつかわ12月号（松川町公民館報第685号）に議員紹介記事が掲載されました。

「新町議会議員の皆様にお聞きしました。」として議員となり目指すもの、取り組みたいことなど3つの質問への回答などが掲載されています。

町のホームページなどからご覧いただけます。ぜひご一読ください。

今月の表紙

◎**写真の笑顔**　年少さんのおうちごっこ遊び（上片桐保育園）

◎**俳句の想い**
いただいた美しいマフラー。友だちの温かさまで織り込まれているように感じました。

議会だよりがアプリで見れる

マチイロ
マチを好きになるアプリ
App Store からダウンロード
iPhoneの方はこちら
Google Play で手に入れよう
Androidの方はこちら
QRコードからもダウンロードできます

人　事

松川町人権擁護委員
令和3年4月1日から令和5年6月30日
大澤　徹氏（上片桐）

松川町固定資産評価審査委員会委員
令和2年12月19日から令和5年12月18日
福島 敏美氏（元大島）

松川町監査委員
令和2年11月30日から2年間
米山 俊孝氏（元大島）

本会議でのより詳しい議論は公式HPの会議録にてご覧になれます。松川町 本会議 会議録 検索

問 旧青年の家調査はどの様な状態か

答 広報不足は否めないが調査を進めていく

（問） 住民の旧青年の家への関心度が低い原因はなにか。

（町長） 日頃より住民が利用する施設でないことが、大きな原因と考えている。そのために現在検討している中身が見えづらかった。

（問） この件に関しどの様な広報を務めてきたか。

（産業観光課長）
具体的には公報誌と地元の西山地区に経過報告をしたが十分でなかった面は否めない。

中平文夫 議員

（問） 関連して新聞に掲載されている総合福祉施設の件でも、情報不足的な捉え方をされているが。

（保健福祉課長）
地域共生社会について、理解を浸透させながらパンフレットで各区にて説明した。今後は公報誌などでシリーズ化して広報に努めたい。

（意見） 重要課題は、シリーズ化して広報することは良いアイデアと思う。各区で説明しても、パンフレットが各戸まで行き届かず理解されていない。資料は各戸配布をすべきと考える。

パブリックコメント

（問） 旧青年の家の利用方法についても、パブリックコメントを収集したが、応募数は少なかったと思う。町での告知方法はどの様になっているか。

（まちづくり政策課長）
手続き条例に沿って、町の公報誌やインターネットを活用して広報している。

（意見） インターネットでホームページに掲載されたパブリックコメントを見る機会の住民はごく僅かであり、公報誌での告知では十分とは言えない。多くの意見を収集しようとする手段はほかにもある。例えばチャンネル・ユーの文字放送を期間の間流す、組合回覧などを利用して多くの住民の目に留まる工夫をするなど、知恵を出せばいくらでもある。単にやりましただけでは意味がない。

検討委員会ではどの様に判断されるのでしょうか

旧青年の家調査関連

（問） ９月補正のアスベスト含有調査業務として50万円計上されている。議会へはその後が報告されたが住民にはまだ公表されていない。公表すべきではないか。

（産業観光課長）
予備調査の概要は議員の言われる通りであり、予備調査で明らかになった箇所の調査を行い公表に結び付けたい。

（問） 同じく９月補正で建物寿命調査業務として１８０万円計上されていた。どの様な目的で行われるのか。

（産業観光課長）
旧青年の家利用の判断を今年度中に出す。改修か解体か客観的に判断し、長期的に良好な状態で利用できるか見極める。

（問） 調査結果の公表はどの様にするか。

（産業観光課長）
客観的データとして解りやすくまとめ公表する。

（意見） 旧青年の家の現状調査を行う必要がないではなく、しっかり行って安心して利用できるか、判断材料として結果の公表を住民の多くは望んでいる。

問 リニア発生土をいかに有効利用するか

答 町内の社会的インフラ整備を考えたい

森谷岩夫 議員

（問） 県内の発生土の処理は、協議中の30か所も含めて約9割メドがついたと、数日前にJR東海の宇野副社長より発言があった。しかし大鹿村工区を見るとそんなことはない。松川町でも平成25年から始めたが、未だにそれほどの成果がない。もう7年と言う歳月が過ぎ、来年の夏ごろから本格的な搬出が始まるという。もはや時間がない。現在大鹿村内が6か所で40万立米、中川村半の沢の埋め立てで53万立米、それに伊那市の工業団地造成で28万立米。これで約120万立米が活用でき、大鹿村工区は300万立米なので、あと180万立米がまだ決まっていないことになる。町は他所に先駆けてこれをいいチャンスと捉え、町内で活用することが大切だと思うがどうか。今回新たに町長名で各自治会へ、発生土利用候補地の申し込み依頼をしたがその結果はどうなのか。

（町長） 発生土を有効活用することで、町内の社会的インフラ整備等を目的に、今関係者に働きかけを行っている。古町から前河原に下る道路はおおよそ10万立米だが5月28日に利活用の契約を済ませた。一台のダンプでは運べるのは3・5立米だという。そのほか、行政主導で現在数か所を進めている。常に何ができるかを考え、地域よりの情報もいただいて、今後も積極的にかかわっていきたいと考えている。

（問） もう一つの問題は、発生土を町外へ搬出するとして、松川インターを使うという話がJR東海よりあったことだ。実際、来年の夏ごろより伊那へ28万立米搬出することは既に決まっている。町内で利用していればこんな話はなかったことだ。この搬出は住民生活に大きな影響がある。中川村渡場の信号は最盛期往復で1350台の車が通過するという。渡場から七椙神社の前を通り、新井の交差点までの沿道住民はたまったものではない。新井の町から役場・小中学校、それに東浦の交差点よりインターとなるといろいろな問題が出てくる。新井の商店街も大きな影響がでる。ともかく新井の交差点まで来ないうちに利用することが一番だ。住民目線から考えれば、町ができるだけの回避を考えることが仕事ではないか。町の責務だと思うがどうか。

発生土搬出に新井交差点をいかに使わなくて済むか

（建設課長） 発生土の有効活用はスピード感を持って対応したい。搬出ルートはお話の主要道と古町の境の沢線、それに片桐松川の護岸線の3つのルートが示されているが、新たに片桐松川のもう一方に道路を作るよう要請していく。少しでも町民の安全を確保することが行政の責務だと認識している。

（意見） 交渉ということについてだが、松川町の交渉は非常に弱いと各方面から聞いている。ともかく、今のままでは松川町は何もメリットがない。発生土の運搬で住民生活や環境の悪化が心配されるだけだ。本気で交渉して、町民がまずまず納得できることが大切ではないか。担当者任せでなく、理事者が本気のところを町民に見せてほしい。

一般質問のより詳しい内容は公式HPの会議録にてご覧になれます。松川町 本会議 会議録 検索

問 元気センターの早期開設を

答 令和5年3月の開所を予定している

松井悦子 議員

（問） 町は、２０１８年度、ハローミヤ跡地を、福祉総合施設とする目的で3，３５０万円で購入した。予定では、２０２０年4月には「（仮称）元気センター」が開所されるとの事であった。しかし、２０１９年4月に宮下町長となってから、約半年間検討委員会すら開かれず、議会へも説明が無かった。そして、現在まで用地取得後2年が経過するが、動きが無いがなぜこのような状況になっているのか。

（町長） ２０１９年2月の検討委員会にレイアウト案をしめしたところ「新町長が決まるまで保留にした方が良い」という発言があり、検討がストップした。その後、コミュカフェ利用者や、障がい者施設の利用者への聞き取り作業をした。その後２０１９年11月の検討委員会に出席し、スーパーの建物をそのまま改修することに捉われないという、話をさせてもらった。

（保健福祉課長）

町長の考えについて、３つのグループに分かれて話し合いをし、次の検討委員会で委員一人ひとりから、意見を出してもらった。

（問） 何度か検討委員会が開かれたようだが、進め方が遅くないか。先般、「松川町身体障害者協会、松川町精神障害者家族会、松川町手をつなぐ育成会」の代表者が、町長あてに要望書を提出したはず。内容は、「私達は明るく便利な場所にできるという元気センターの完成を心待ちにしている。しかし、令和２年４月の開所予定と聞いていたが、いまだに何の予定も示されず、自分達障がい者は置き去りにされているように感じる。自分たち障がい者は、車に乗れない人も多いので、駅に近く、近くに商店があり、病院や学校も近いハローミヤ跡地は最適地だと考えている。未だ具体的な建設計画が出されない事は見通しが持てず、当事者も家族も不安です。どうか気持ちを理解していただきたい」というものです。要望を受けて、どう感じられたか。

（町長） 日程を早く示していかなければならない。

（保健福祉課長）

ＪＲ伊那大島駅に近く、周辺に商店があり、病院や学校、役場が近いハローミヤ跡が最適地だというご意見だと理解した。今後のスケジュールは、年内に地域福祉協議会を開催し、年明けに検討委員会、その後社会文教委員会、議会全員協議会を経て３月議会に、基本設計と実施設計の予算を計上する。８月頃までに設計業者のプロポーザルを行い、設計業者の決定をする。令和４年に建設に入り令和５年３月開所とする予定だ。

松川町での共生社会の実現

（問） 今後、建設委員会の立ち上げが必要だと思うが、メンバーにコミュカフェや障がい施設の利用者を多数加えて欲しい。

（保健福祉課長）

そのように考えている。

コミュニティーバスの低床化を

（問） お年寄りが乗り降りに苦労している。とりわけ上片桐線は旧式のバスで乗り心地も悪い。バスの新規購入など改善すべきと思うが。

（まちづくり課長）

当面ステップ板をもう一枚付けて対応する。今後については、地域交通対策協議会に提案をしていく。

問 発生土運搬に関して町の負担軽減は可能か

答 飯田市、駒ケ根市との連携をＪＲに投げかけていく

（問）発生土運搬車両の台数を減らすために飯田市、駒ケ根市との連携は計れるか。

（町長）地域の総意として建設を推進している。また計画通りの開業に向け協力する必要がある。しかしこれに伴い地域住民の安全が脅かされることがあってはならない。町の負担軽減が図られるよう、地域全体で負担を分散いただくようＪＲに対し引き続き求めて参りたい。座光寺スマートインターチェンジ、飯田インターチェンジ、駒ヶ岳スマートインターチェンジなどを利用した運搬計画もＪＲに投げかけてまいりたい。

塩沢貴浩 議員

（問）安全に絶対無事故で工事を完遂するために迅速な対応、計画の作成、ＪＲとの協議は可能か。

（建設課長）発生土運搬に関しては数年間継続することになっています。それに対応した道の改良はＪＲにも協力してもらい計画していきたい。また現在行っている地元説明会等でいただいた意見を基に道路整備計画を検討作成していきたい。また、ダンプが何回も通行すると舗装の路面も傷んでくる。最終的には維持工事ということになるが、舗装の舗設なども要望したい。

（問）住民の生命、生活が守れないようであれば計画の抜本的な見直しを含め検討してほしい。

（町長）１日片道５５０台という数字をまず減らせるようＪＲに求めてまいります。また、これを町内の道路ネットワークの整備の大きなチャンスと変えられるよう、私も努力してまいります。

建設中の座光寺スマートインターチェンジ

問 県立こども病院への通院に補助は可能か

答 こども病院に限らず、県外の病院に通院する方の補助も研究していきたい

（問）県立こども病院へ入院されている子供を持つ保護者を対象とした助成について。

（保健福祉課長）入院に付き添う保護者の負担が大きいということは聞いております。松川町が現在把握している限りでは平成二十九年度から、四名の方が県立こども病院へ入院、通院されているとお聞きしています。保護者が自家用車や高速バスなどを利用して通院していることも承知しています。子供に限らず成人の方でも例えば、ガンなどで県外の病院に入通院されている方もいます。県外に入通院されている方を含めた形での研究が必要と考えています。

（問）町長の考えをお聞きしたい。

（町長）そういう方々に助成ということも研究していきたいが、同時になるべく多くの方が支援を受けられる形を目指してやっていきたい。また令和三年度は特に育てるということに関して予算をなるべくつけていきたいと周知をさせていただき、予算の編成を開始したところでございます。

一般質問のより詳しい内容は公式HPの会議録にてご覧になれます。松川町 本会議 会議録 検索

問 子どもの育ちの切れ目ない支援を

答 子育て世代包括支援センター設立を構想

米山義盛 議員

（問） 少子化の進行中で子育て支援について、町の第五次総合計画に「子どもの育ちの切れ目のない支援」という項目がある。日本での教育費は多額のお金がかかる一方で、雇用の流動化で非正規労働者が増え、少子化を加速してきているなかで、地方自治体ができることは何なのかということが問われている。

（町長） 具体的には、ここ数年、三歳未満児の入園希望が大変増えてきて、それに対して人員を割いている状況。今、現在子育てが終わって地域にいらっしゃる皆さんの、子育て参加できる仕組みを、私たちがつくっていかなければならないと、家庭で育てる支援ができないか、その仕組みづくりを考えたいと思う。また、切れ目のない支援ということで、「子育て世代包括支援センター」を令和3年4月1日の設立に向けて今、庁舎内の調整をしている。情報共有をして何かあった時、きちんと相談できるような仕組みづくり。子どもの家庭支援とか、要保護児童などへの支援、また虐待などということも、コロナ禍で不安と仕事の減少で大変今心配しています。

（問） 「松川町の子育て支援センター・おひさま」が、上片桐第二保育園の後に平成17年に発足し、先進的な取り組みで視察者もあったようで、それから十数年たって今はどうか？農免道路沿線の高森町に「あったかてらす」がレディースクリニックと併設してでき、松川町からも利用料を払って利用されている。来年度から、「子育て世代包括支援センター」発足の提案が紹介され、期待したい。出産後のお母さんへのケアで、赤十字病院の元助産師の方が母乳相談室を開設され、近隣の市町村の方は助成券を持って来られる。松川町では発行されてないようで、出産後の母乳指導や精神的なケアを支援する助成券を発行できないか。

子育てお母さんに人気の子育て支援センター

（保健福祉課長） 松川町でも産後事業については平成30年の10月から既に実施をしている。産後うつや虐待などを予防する目的でこの事業が始まったわけで、近隣町村では母子手帳につけて助成券を交付している。松川町では、産後2週間から1カ月以内に実施をしている検診の際にアセスメントを行い、真に必要な方を見きわめて利用してもらうようにし、助産師による母乳指導も実施をしています。過年度の利用が延べ12名で、今年度は現在までのところ17名の方が利用されています。もう少し気軽にこの制度を使いたいとの声もあり、助成券がいいのか研究させて頂く。

（問） 児童虐待は、町内でどのような実態でしょうか？

（こども課長） 全国的に児童虐待は増加してきており、当町でも増加の傾向にあり、虐待やいじめとか教師の暴力については、文部科学省の調査や学校生活アンケートなどです。今まで見逃されてきたいじめを学校で把握して早期に対策するようにしている。虐待の件数は、本年度11月の末までの数字で33件、また今年度、4月に入って17件で、昨年度の件数的は58件、うち新規が17件です。

不登校の児童・生徒数については全国的な増加傾向と同じで松川町では昨年で、年間30日以上欠席の児童生徒は、小学校で12人、中学校で24人となっています。

（問） 赤十字病院と医療・介護の充実は？

（保健福祉課長） 社会福祉施設保全計画に基づき、赤十字病院と松川荘改築を検討する医療介護検討会で考えていきます。

いっぱん質問

問 町長の政治倫理姿勢と具体的成果を問う

答 数千万の報酬を得ているが成果は乏しい

加賀田亮 議員

（問） 専決処分など法条を逸脱した行為が散見される。町長は公人として法令に対し真摯に謙虚であるべきでは。

（町長） 法律は専門外だ。その都度調べている程度。

（問） 公人の信条や理念が法解釈に表れる。案件のたびに付け焼刃では困る。町長のチャンネルユー社長就任も法的に問題の多い判断だ。公人として法解釈は適切だと思うのか。

（町長） わからない。

（意見） 町長の法解釈と運用は極めて耳学問的だ。自分に都合の良い解釈しかしない。そんな姿勢には、不安と恐怖しか感じ得ない。

（問） 町民や各種団体は様々な要望書、意見書、質問書を町長あてに出している。しかし、まったく回答がないという不満も多い。回答に時間を要する場合でも、最低月1回は途中経過を回答すべきでは。

（町長） 検討するが約束できない。

（意見） 町長が常に言う「町民と向き合い対話する」に反する行為だ。自分に賛同する人の意見は喜んで聞き対話する。町長を批判する耳障りな声は遠ざける、無視する。結果的にそうとしか見えない。行政トップとしてそれで良いのだろうか。

（問） 町長任期48か月のうち、18か月が過ぎた。37・5％にあたる。掲げた公約もそのぐらいは達成できたのか。

（町長） 自己評価は40点。つまり15％ほどの達成率。前町長の残した課題に追われている。

（問） 青年の家、リニア、元気センターなどの案件は町長選挙の時点で当然知りえた課題だ。それを言い訳にするのはいかがなものか。町長の公約「若い世代のＩＪＵターン定住」の具体的な進捗は。

（町長） 増えていない。

（意見） 町長の発言は「～を頑張りたい」「～を検討したい」などの抽象的な表現ばかりだ。「やってます感」だけで中身が伴わない。すでに任期の三分の一以上が過ぎた。具体的な成果が求められることを覚悟してもらいたい。

（問） 町長・副町長のこれまで18か月間の受取報酬総額は。４年間任期を全うした場合の、退職金を含めた受取報酬予定総額は。

（副町長） １，２４３万円だ。任期終了時は３，８３５万円だ。

（問） ものすごい額の報酬だ。目立った実績もなく自己評価はたったの15％。それで１，６００万以上をもらい、４年間で６，０００万近くを手にする。実績を出す義務がある金額だとわかっているのか。巨額の報酬を得る以上、公約を達成させるのが当然かと思うが。

（町長） １００％目指して頑張るが、次の選挙で当選すれば、町民から認められた証拠だ。

（意見） 町長が常々「私は選挙で選ばれた」という表現を使う。「選挙で当選すれば白紙委任」という考えが透けて見える。途中経過を細かく議会に報告すべきだ。今後も町長の政治姿勢と倫理を厳しく注視していくつもりだ。

（町長） １，６７９万円だ。任期終了時は５，８３４万円だ。

※私加賀田の一般質問終了後、虚偽と受け取れる町長答弁があったと米山俊孝議員が指摘。議会および加賀田に町長は謝罪した。

一般質問のより詳しい内容は公式HPの会議録にてご覧になれます。 松川町 本会議 会議録 検索

問 進まない課題をどう解決していくか

答 最終的には町長の決断でやっていく

川瀬八十治 議員

（問） 旧青年の家あと利用について。体育館を残してその他は改修か、解体か町の方針は。以前から議会と行政で協議している、なぜ検討委員会が必要か。

（町長） ①町民の関心を高める。②パブコメなどの意見を踏まえる。③コロナの影響による情勢の変化に対応する。また今回、一旦立ちどまって方向性を判断する。

（問） 事業計画を立て県へ申請をすれば、予定通りの補助金は県から貰えるのか。

（問） 今後、何年か経過した後、解体となった場合、その費用はどこが負担するのか。

（産業観光課長） 上限額が1億4,700万円で県との約束であり、県当局との協議を行い整備計画の策定していく。予算要望を行い、交付申請へと進めていく。

（産業観光課長） 補助事業は事業を施行して、完了するということが前提である。町の施設となり、町が全額負担をして解体することになる。

改修か解体か、どうなるの？

壁のアスベスト調査は？

（問） 県から譲渡された建物の、アスベスト調査は町ですることなのか。県の見解は。

（副町長） 県は建物の売却・解体・改修でアスベストの事前調査について、今回のような形でやるのか、設計を組む段階でやるのか決まりはない。

（問） ハローミヤの建物調査についての報告内容と問題点は。

（保健福祉課長） 外壁は部分的に劣化があり補修が必要である。耐震性については、鉄骨造の耐震基準のため、柱や梁、基礎などに手を加えなければ問題はない。アスベストについては、天井材を撤去する際に必要だという評価であった。

（問） 旧青年の家と同じで、解体か改修か決まってないハローミヤについては、アスベストの調査を行わなくて良いのか。

（保健福祉課長） 元気センターについては今後、建物をどうするか決まった時点での判断となる。工事が決まり、必要となれば別途費用となる。

（問） 小・中学校のトイレ改修工事や特養松川荘の屋根補修工事は、実際に行われる。アスベスト調査については。

（保健福祉課長） 平成29年平成30年の時に修繕と同様と判断してアスベストの調査は行わない。

（こども課長） 小学校のトイレ改修工事について、現在のところアスベストは無いが、出てくれば協議をしながら進めていく。

（意見） アスベスト調査については、事業内容と担当課によって考えが違う答弁です。①建物をどうするか決まった時点での判断となる。②出てきたら協議をしながら進めていく。③町有の建物は、調査をしておく必要がある。小学校の工事で出てから協議をしていたのでは、子ども達の安全・安心は守られません。皆さんは、どう思いますか。

問 リニア新幹線開通を見据えた環境整備は

答 若者のアイディアを施策に反映できる仕組みづくり

米山郁子 議員

（問） 第5次松川町総合計画改訂版のなかで「活力ある産業が息づくまちづくりの関係人口の構築として」リニア新幹線・三遠南信自動車道の開通を見据えた環境整備が基本施策となっている。

開通を見据えた環境整備についてどのような考えがあるのか。

（町長） 大都市圏との高速交通ネットワークが整備されることで、人と物の行き来の促進が期待できる。

若者のアイディアを施策に反映できる仕組みづくり、またこの地域を訪れる人が親しめる開かれた地域づくりの推進というところに力を入れていく。交通環境の整備では、近隣市町村と連携し促進をしていく。

（問） 若者が帰ってきたい町づくりの実現に向け、若者のアイディアを政策に反映できる仕組みづくりとして、「若者のオンライン・コミュニケーションシステムの構築と定住支援」・「松川町の山での私の暮らしを」の2事業に取り組まれているが進み具合は。

（まちづくり政策課長） インターンシップ事業として、松川町の将来像を描く機会をつくることでIターンによる定住促進に繋がることを目的としている。松川町在住の高校生と松川町出身の大学生と共に、意見交換をする。3月までに未来シナリオをつくるスケジュールで、11月4日には具体的な話合いが持たれた。

山での私の暮らしは、中山間地の魅力である生きる・つくるを繋ぎ、若者が地域に主体的に関わり、地域の資源を地域で活用する仕組みづくりである。10名参加でアイディアを出し合っている。

楽しくオンラインミーティング

問 中央公民館「えみりあ」の住民サービスは

答 インターネット予約は有効である

（問） インターネット予約が開始され、業務の削減は出来たのか。

（生涯学習課長） 窓口の混雑の解消や重複予約ミスが軽減され、住民のサービスの向上はもちろんであるが、職員として、予約日の早朝出勤が無くなったことや、ペーパーレス化も進んでいる。

（問） コンビニにあるようなマルチコピー機の導入は考えているのか。

（生涯学習課長） 民間のサービス的な部分を考えると町の中では、受益者として負担するには、若干高いお金を頂戴することになる。

（問） コロナ禍での公民館設備の衛生についてどうのようにされているのか。

（生涯学習課長） 職員によるアルコール消毒を毎日おこなっている。

（問） 公民館における「新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」は守られているのか。

（町長） 特定多数の方が集まる施設である。ガイドラインに沿ってやっていくように改めて指導をしていく。

一般質問のより詳しい内容は公式HPの会議録にてご覧になれます。松川町 本会議 会議録 検索

新天地

この町に暮らして

ご縁に恵まれた松川での生活

（北名子）富松佑介 法子・大地

２年半前、結婚を機に夫の住む松川のアパートへ引っ越しました。夫は県外出身、私も町外出身のため知り合いがほぼおらず、長男の出産もあり不安と共に生活する日々でした。そんな時期に心の支えになったのが、大家さんご夫婦の温かさでした。いつも何かと気にかけて下さり、声をかけて頂くだけで孤独が薄らいだのを覚えています。本当に感謝してもしきれません。同じく夫の会社の方、おひさまの先生方、同じアパートの方と、たくさんの温かい方と出会い、段々と馴染めたように思います。友人に誘われ、ＮＰＯ法人Ｈｕｇでお手伝いをさせて頂くようになると、世代の方と関わる機会に恵まれ、ますます松川のことを知り、松川の人を好きになるきっかけとなりました。

松川町の人の温かさを実感し、予てより計画していたマイホームを町内に建てることに決めました。２０２０年４月に引っ越し、自治会、お組合にも入れて頂きました。お会いすると優しく声をかけて下さるので本当に嬉しく、心強く感じています。ご近所さんも、自然と挨拶や立ち話ができる空気があり、親子共々周囲の方との関わりを楽しみながら過ごせています。最近では親切な方が畑を貸して下さり、ご近所さんと共同で野菜作り・収穫という貴重な経験もさせて頂きました。

よく知らない土地でなんとなく暮らす日々でしたが、周囲の方々の温かさに触れ、受け入れてもらえたように感じられ、ここが自分たちの居場所なんだと思えるようになりました。たくさんの出会いとご縁に感謝し、今度は自分たちもこのご縁を繋いでいけたらと思います。

I Have a Dream!

私には夢がある

未来に羽ばたく若者●子どもたち

松川中学校サッカー部

サッカー部の目標の「有言実行・不言実行」は自分の言ったことや言われたことと言われなくても当たり前のことを当たり前にやるという意味です。

この目標を掲げ、チーム一丸となって部活動に取り組んでいます。

タイトルの「I Have a Dream」は、ノーベル平和賞を受賞したキング牧師の演説の一節。職と自由を求めたこの有名な演説は、公民権運動に大きな影響を与え、未来を切り開いた。

あとがき

多くの皆様からのご意見を頂き、充実した議会だよりを目指して新メンバーで編集していきます。今後ともよろしくお願いいたします。（広報部一同）

広報部（編集委員会）
（部　長）
米山郁子
（副部長）
米山義盛
塩沢貴浩
（部　員）
松井悦子
米山俊孝
菅沼一弘
中平文夫

●発行／長野県松川町議会　●責任者／黒澤哲郎
●編集／議会だより編集委員会　0265−36−7020　●印刷所／龍共印刷株式会社